

# COVID-19（新型コロナウイルス感染症）における 学校再開の手引き

この手引きは、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の発生を踏まえ、学校再開に向けた具体的な取組を定めることとする。各学校は、この手引きに基づき、地域の状況や学校の状況に応じて、適切な対応を講ずることとする。

安部学院高等学校

## COVID-19における学校再開手引き

- ①登校時における対応
- ②授業時における対応
- ③HR、休み時間、昼食時、放課後における対応
- ④感染者並びに感染疑いの発生時における対応
- ⑤その他

### 学校再開の為の感染予防対策 基本

- 一、3密（密集・密閉・密接）を極力避けましょう。
- 一、家庭を出てから戻るまでマスク着用厳守（自分と大切な誰かを守る為です。）
- 一、うがい・手洗い・消毒を徹底しましょう。（インフルエンザからも守れます。）
- 一、不特定多数が使用するものを使った後は、手洗い等を行いましょ。
- 一、免疫力を上げましょう。（十分な睡眠・規則正しく栄養ある食事・適度な運動）

- 毎朝起床時に必ず検温。37.3℃以上ある場合は、時間を空け再検温し様子を見ます。平熱より高い場合や風邪症状がある、だるさや味覚・嗅覚異常を感じる場合は、登校を中止し自宅で休養をしてください。（保護者から必ず学校へご連絡ください。）

**☎03-3913-2323**

- \* 後日の登校に関しては、担任から連絡します。自宅で様子を見てください。。
- \* 感染予防の観点から、校内での飲食は極力避ける必要があります。その為、**朝食は必ずご家庭で**取っていただき、校内での食事は昼食時以外は禁止致します。
- \* 健康観察シートは毎日必ず検温・記入し、必ず登校時に持参させてください。毎日登校時に確認いたします。忘れや記入漏れがあると、保護者にご連絡差し上げます。確認が取れるまで入校できません。
- \* 連絡が取れず、確認ができませんと下校措置を取ることになります。くれぐれも毎日の検温・記入を忘れずをお願いいたします。

この感染症との付き合いはこの後ずっと続き、社会でも共存していく新たな生活様式を求められています。学校生活の中で自分と大切な人を守る為の様々な行為を習慣としていただけるようお願いいたします。

- \* 生徒並びにご家庭の安全・安心を確保するため、教職員一同一丸となって取り組んでまいります。この度の感染症は、ご家庭のご協力なくしては対応に厳しいものがあります。生徒の校内への入校に関しても、しっかりと対応するという考えから保護者の方へ電話連絡をさせて頂き、確認を取らせていただくことがございます。しばらくの間、ご迷惑をお掛けすることになりますが、是非ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

## 学校生活での約束

- COVID-19（新型コロナウイルス感染症）は飛沫感染・接触感染により拡大するものです。生徒の皆さんは飛沫並びに接触に細心の注意を払い行動しましょう。
- マスク（予備も含む）や消毒スプレーなどは、普段からカバンに入れて準備をしましょう。
- 社会生活の制限がほぼ解除され、学校生活の時間帯が通常に戻った場合も、感染症に対するワクチン等が普及するまでの間は勿論、その後もみんなと一緒に笑顔で生活できるように新しい生活様式を身に付けて、継続していきましょう。
- インフルエンザなどと同様で気を付けていても誰もが感染する可能性があります。また、自覚症状が無いだけで「すでにかかってしまっていた」と言う例もたくさん報告されています。感染しないよう注意することは勿論「もしかしたら?！」を考え、「他人にうつさない」行動が今、一番求められています。全員で一緒に思いやりのある言動をして行きましょう。
- 日常生活でのコロナ対応が皆さんのストレスになっていませんか？  
買い物に行けない・ライブに行けない・カラオケに行けない・友達と自由に会っておしゃべりできない等々…  
気付いている人も、いない人も私たちは大なり小なりストレスが溜まっているはずですよ。  
**そんな今こそ気を付けたい！今までなら言わない事。しない事。誰かに言ったり、したりしていませんか？**  
そんな事が今の社会では問題になっています。誰もが今まで普通に出来ていた当たり前の事が今はできません。だから誰かにあたる・・・それって違う、間違ってる！そう、皆さんならわかっている事です。  
新学年が新生活が始まります。慣れるまで別のストレスも加わるでしょう。でもそれは一時的なもの。相手を思いやる優しさを忘れず会話をし、行動してください。今の社会、これからの皆さんに最も大切なことです。  
気持ちよく生活できますよ！特に自分自身が!!

### 通常生活に戻れるまで必ず持って来る物

- ① 水筒（校内の冷水器は感染予防の為、使用できない為）
- ② コップ（持参は自由とし、毎日持ち帰り洗うようにしてください）
- ③ ボックスティッシュ1箱（感染予防の為）
- ④ 予備マスク（汚れたりした場合の交換用に必ず用意してください）
- ⑤ ビニール袋3枚（感染予防の為、教室内のゴミ箱は使用できません。各自ビニール袋に分別し、下校時に捨てるようにします）

※ ウォーターサーバーは感染予防の為、使用はできません。夏場に向かい水分補給が大切です。大きめの水筒や必要量、本数のペットボトルなど各自が準備してください。

## 登校手順

生徒登校  
HR開始30分前から開始5分前

登校順に検温・消毒

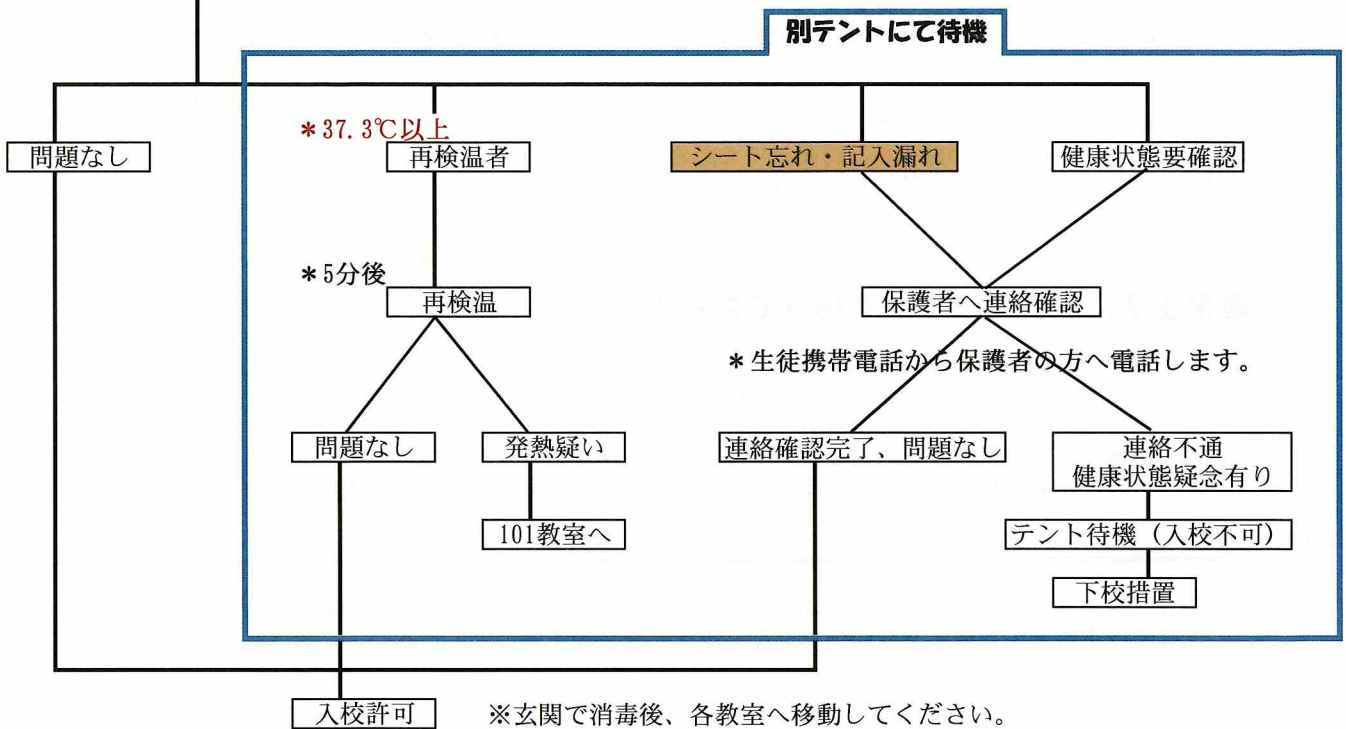
\* 検温・消毒後、各学年指定場所へ移動（ソーシャルディスタンスを!!）

健康観察シート提出  
(記入漏れの無いように注意してください。)

\* 健康観察シートを忘れずに!! (毎日持参です)

健康チェック（観察シート返却）

\* 発熱やシートの記入漏れ、体調不良等はテントで待機します。



### 保護者の方へお願い

健康観察シートを忘れた、記入漏れがある、登校時の健康状態に確認したい点がある等の場合は、ご連絡いたします。その際は生徒の携帯電話又は、学校電話から掛けさせていただきます。  
6月中は9:20頃から10:00頃までの間に連絡いたします。生徒の携帯電話、学校からの電話にはお忙しいところ申し訳ありませんが必ず出ていただきますようお願いいたします。(連絡の時間は前後する場合があります。)  
**学校電話番号 03-3913-2323**  
連絡がつかない場合は下校措置を取らせていただきます。ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(御対応) 銀行の口座開設の手続き

銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

銀行の窓口では、必要書類を提出し、本人確認を行います。インターネットでは、事前に必要書類を提出し、本人確認を行います。

銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

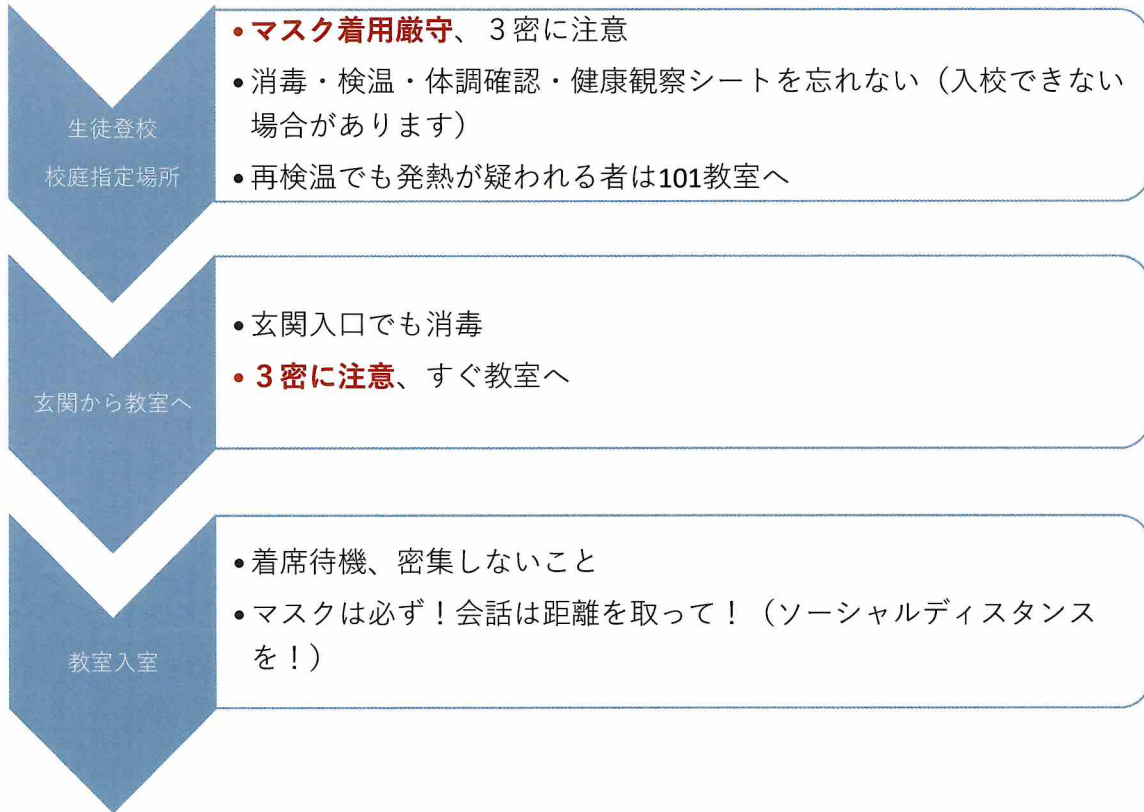
銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。

<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>	<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>
<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>	<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>
<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>	<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>
<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>	<p>銀行の口座開設の手続きは、銀行の窓口またはインターネットを通じて行うことができます。</p>



## 学校生活マニュアル（登校時）

- 毎朝起床時に必ず検温。37.3℃以上ある場合は、時間を空け再検温し様子を見る。平熱より高い場合や風邪症状がある、だるさや味覚・嗅覚異常を感じる場合は、自宅休養を基本とする。
- 欠席、再検温の為に遅れ（遅刻としない）は、保護者から学校へ必ず連絡を入れてもらうこと。  
☎ 03-3913-2323
- 駅から校門まで集団での移動禁止。通勤の方とすれ違う時は道を譲り距離を取ること。周囲との間隔を1メートル以上空けて登下校すること。
- 健康観察シートの記入漏れ・忘れた・体調不良の場合、保護者へ確認が取れるまで入校できません。（下校させる場合があります。）



\* 校内に於いて可能な限りソーシャルディスタンス（他の人との距離；理想は2m）を意識して取りましょう。

感染しないために <u>すぐにできること</u>	それは免疫力を高めること。
人の悪口や陰口を言う⇒ <b>免疫力低下</b> (科学的に証明されている)	他人を褒める。 どんな些細なことでも感謝の気持ちを持つ。 そして感謝の気持ちを言葉に乗せる(伝える)
	↓
	<b>免疫力高まる</b> (科学的に証明されている)
誰もがすぐに取り組める簡単なことです。これでウイルスから自分を守れ、皆が気持ちよく過ごすことができます。今こそ <b>言葉の力</b> をみんなで発揮していきましょう。	

## 学校生活マニュアル（授業時）

- 校内では必ずマスク着用厳守と、うがい・手洗いを徹底してください。

### マスク

- **授業及び校内ではマスク着用厳守**
- 忘れ、破損等着用できなくなった時、すぐに身近な先生に伝え学校備品を着用する（翌日新品を返還）
- **マスクを捨てる時はビニール袋に入れ、しばって！**

### 消毒と換気

- 教室の入退出の時は必ず手洗い、うがい、消毒する
- 授業中、休み時間 10～15分おきに換気をする
- 担当の先生の指示でこまめな水分補給をしましょう

### 教材について

- 電卓、体操着、体育館シューズなどの貸し借りはしないこと
- 多数の人が触れるものを使用したら必ず手洗いを！

- \* 普通教室内は5列で配置し距離を保つようにします。（前後の間隔がやや近くなります。後ろを向いて話すことは避けましょう。）
- \* マスクを捨てる時用にビニール袋を常にカバンに入れておきましょう。

### 衛生室利用について

- 感染予防対策の為、通常利用はできません（**ベッド利用不可**）
- 授業時間以外で体調が悪くなった人はまず職員室へ行きます
- 校内で体調不良になった場合は原則下校することになります（経過観察として当日含め3日間の自宅待機になります）
- **寝不足、朝食欠食などしないよう十分注意してください**

- ※ 今までの日常で出来た事が出来ないのが、これからの日常になります。新しい生活スタイルを意識して、当たり前になるよう全員で進んでいきましょう!!

## 学校生活マニュアル（HR・休み時間・昼食時・放課後）

- 3密（密集・密閉・密接）にならないように…大切な人の為です。
- 密集 二人以上の集団を作らない。必要な時は距離（ソーシャルディスタンス）を取り、間隔をあけること。
- 密閉 換気ができない、しない空間を作らないこと。
- 密接 近距離での会話は、今は控える。間隔をあけて会話する。

ホームルーム

- 放課後HR終了後は清掃等を手早く済ませ下校すること
- マスクを捨てる時はビニール袋に入れ、しばって！
- 3密に注意すること

休み時間

- 教室の窓・ドアは全開にし換気する
- 友人との会話を楽しむとき、3密を避けるよう注意しましょう
- 1m以上あけ、近距離での会話は避けましょう

昼食

- 今は自分の席で前を向き食事すること
- 他クラスや他の席への移動はしないこと
- ゴミは各自ビニール袋に入れ、口をしばり、下校時に出します！

自販機・電子レンジ

- 自販機使用はソーシャルディスタンスを保ち使用すること
- 電子レンジ・冷水器の使用はできません

トイレ

- 便座の消毒用スプレー等を設置してあります
- エアータオルは感染予防ため使用できません

講習・補習  
部活動

- 当面の間、放課後の講習、補習、部活動はできません
- 社会の感染状況を踏まえ段階的に再開します

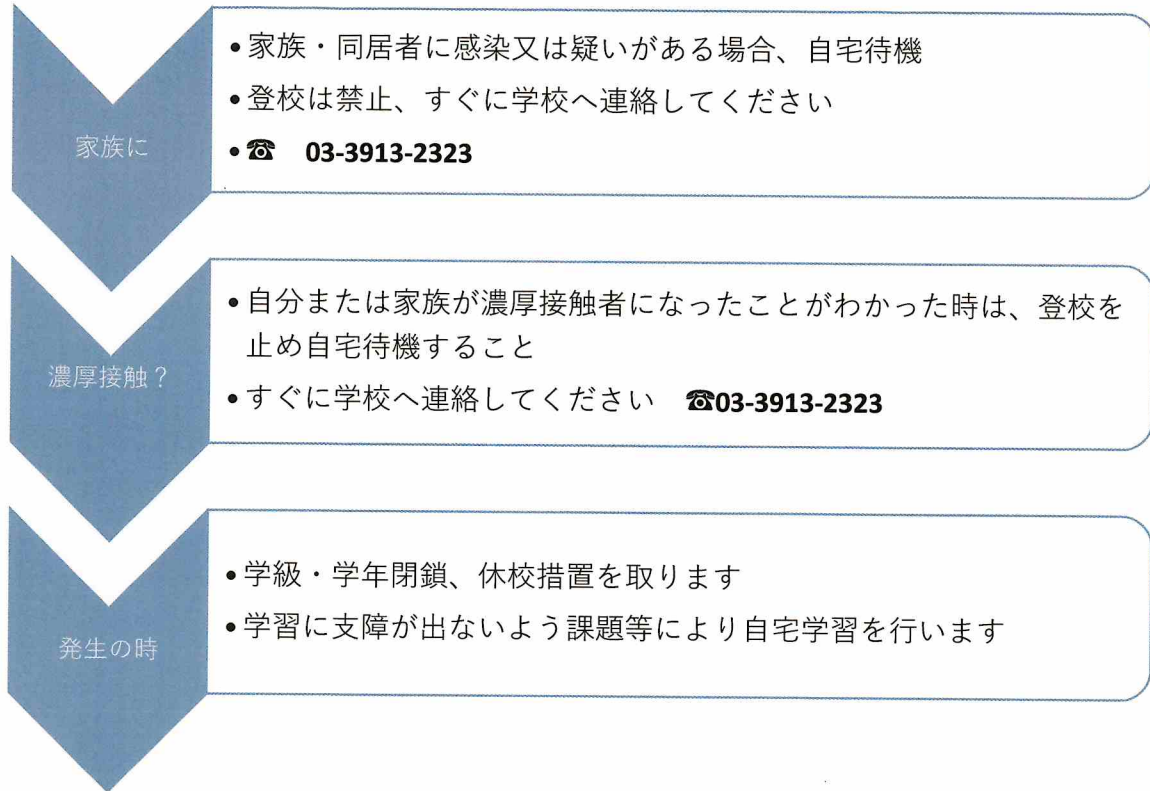
\* 朝食は必ず自宅で済ませてください。校内での朝食・間食は感染予防の為、禁止とします。

\* 帰宅したらすぐに手洗い・うがい・洗顔を丁寧におこなってください。  
洗う時間の目安はハッピーバースデーの歌を2回分です。ウイルスを退治できますよ！

**注意 熱中症・脱水症に気を付けよう！**  
マスクをしていると口腔内、口周りは湿度が上がりがり身体が欲していても水を飲みたがらなくなり熱中症・脱水症状を引き起こします。**休み時間にこまめな水分補給を！！**



## 学校生活マニュアル（感染・感染疑い発生の時）



感染しないためにすぐにできること それは免疫力を高めることでしたね。

- ① 十分な睡眠 ② 適度な運動 ③ バランスの良い食事 です。そして、もう一つ！！  
④ 感謝の気持ちを持ち、その気持ちを言葉に乗せる（伝える）です。

誰もが簡単にすぐにでき、これでウイルスから自分を守れ、皆が気持ちよく過ごすことができます。今こそ**言葉の力**をみんなで発揮していきましょう。

### 最後に

- 自分は大丈夫、少しくらい平気。本当にそうでしょうか？生後すぐの赤ちゃんからお年寄りまで年齢、性別、健康状態に関係なく感染は広まっています。今この瞬間のあなた達ひとり一人の行動が、あなたとあなたの大切なかけがえのない人を救います。

自分勝手な安易な考えで行動し、感染してしまった人たち。気を付けていても感染してしまった人たち。そしていつか感染してしまうかもしれない私たちの為に、自分や家族を犠牲にして感染の恐怖と闘いながら、「これが私の使命だから」と医療や日常生活を維持するため闘ってくれている人たちがいます。私たちの今の日常は、それらの人々の献身の上に成り立っています。

では、私たちはどうすればいいでしょう。

「そんな関係ない」「それが仕事でしょ」と言えるのでしょうか？逆の立場だったらどうでしょう？それらの人々を一人にしてはいけません。皆さんも一人ぼっちは嫌ですよね。私達も一緒に戦っていきましょう。私たちにできることで、援護しましょう。私たちにできること。それは何か。皆さんはすでに知っています。理解しています。そして行動しています。今は不自由で苦しく、つまらないかもしれませんが、でも、それ以上に自分を犠牲にして踏ん張ってくれている人たちがいます。みんなで一緒に、今までの当たり前とと思っていた日常を取り戻せるよう行動しましょう。そして、みんなで一緒に笑いましょう。

